

# 窓の防火設備への位置付けについて(告示改正概要)

## 改正の概要

建築基準法第2条第9号の2口等の規定により、耐火建築物等の外壁の開口部で延焼のおそれのある部分には、20分間の遮炎性能を有した防火設備を設けなければならないこととされており、当該防火設備は大臣が告示で定める仕様に適合するものか、大臣認定を受けたものでなければならないこととされている。

現行の告示において、窓の仕様としては「鉄 + 網入りガラス」に限られており、防火設備として当該仕様以外の窓を使用する場合には、個別に大臣認定が必要。

今般、防火設備としての窓の告示仕様化のニーズが高まっていることを踏まえ、建築基準整備促進事業において必要な性能が確認された木製、樹脂製、アルミ製及びアルミ樹脂製の窓の仕様(次ページ参照)について、告示仕様として位置付けることとする。  
防火設備の構造方法を定める件(平成12年建設省告示第1360号)

## 建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律 衆議院附帯決議(平成27年7月)

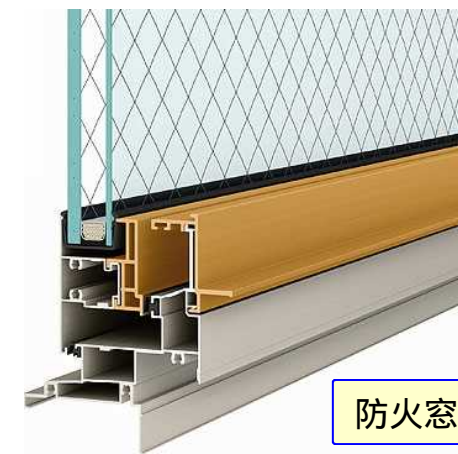
七 住宅等の断熱性能の向上を図る上では、開口部における木製又は樹脂製の窓の使用が有効であるため、その普及の促進に向けて、諸外国の例も参考にしつつ、同窓の防耐火性能に係る技術開発や基準の合理化を検討すること。

現状の窓サッシ(住宅用)においては、「アルミ製(55.7%)」、「アルミ樹脂製(31.4%)」、「樹脂製(12.8%)」が主流。

## これまでの実験等の成果を踏まえた追加仕様

すべり出し窓及び引き違い窓についても検討中。

サッシ種類(FIX窓)	ガラス種類(複層の場合)	サイズ(幅×高さ)
木	網入りガラス + Low-Eガラス	~ 1,050mm × ~ 1,550mm
樹脂	網入りガラス + Low-Eガラス	~ 800mm × ~ 1,400mm
アルミ アルミ樹脂	網入りガラス + Low-Eガラス	~ 800mm × ~ 2,250mm
	耐熱結晶化ガラス + Low-Eガラス	780 ~ 920mm × 1,100 ~ 1,890mm
鉄鋼	耐熱強化ガラス + Low-Eガラス	700 ~ 1,200mm × 850 ~ 2,400mm
	耐熱結晶化ガラス + Low-Eガラス	1,000 ~ 1,200mm × 1,600 ~ 2,400mm



現行制度では、窓の告示仕様は「鉄 + 網入りガラス」のみ(多くの製品は大臣認定を受けた仕様によるもの)

# 追加仕様

規定内容		鉄枠(新第5号口)	アルミ枠(新第6号)	アルミ樹脂枠(新第6号)	樹脂枠(新第7号)	木枠(新第8号)
枠材の種類		鉄材又は鋼材	アルミニウム合金材	屋外側:アルミニウム合金材 屋内側:アルミニウム合金材 又は無可塑ポリ塩化ビニル	無可塑ポリ塩化ビニル	木材(見付け寸法40mm以上、 見込み寸法70mm以上、気乾 比重0.45以上)
開閉形式		はめごろし戸 網入りの場合のみ全ての開閉形式	はめごろし戸		はめごろし戸	はめごろし戸
ガラスの種類  (耐熱強化:厚さ6.5mm以上、 エッジ強度250MPa以上 耐熱結晶化:厚さ5mm以上 低放射(Low-E):厚さ5mm以上、 垂直放射率0.03~0.07)		・網入り 網入りの場合は開口部の寸法、取り付け 方法等の制限はなし ・耐熱強化 ・耐熱結晶化 ・複層(網入りをを用いたもの又は屋外 側が耐熱強化若しくは耐熱結晶化で屋 内側が低放射(Low-E)であるもの)	・網入り  ・耐熱結晶化 ・複層(屋外側が網入り又は耐熱結晶化、屋内側が低放 射(Low-E))		・複層(屋外側:網入り、屋内側: 低放射(Low-E))	・複層(屋外側:網入り、屋内 側:低放射(Low-E))
ガラスの種類 に応じた開口部の寸法(幅×高さ (mm))  複層ガラスの場合は屋外側のガラスの種類		・耐熱強化(700~1200×850~2400) ・耐熱結晶化(1000~1200×1600~ 2400)	・網入り(~800×~2250)  ・耐熱結晶化(780~920×1100~1890)		・複層(~800×~1400)	・複層(~1050×~1550)
ガラスの取り 付け方法(火 災時に脱落し ないこと)	取付部材によ り枠に堅固に取り 付けること	取付部材 の材質及 び厚さ	・鉄材又は鋼材 ・厚さ3mm以上	・アルミニウム合金材又は鋼材 ・厚さ1mm以上	・鋼材 ・厚さ1mm以上 ・樹脂製の通し材で覆うこと	・鋼材 ・厚さ1mm以上 ・木製の通し材で覆うこと
	枠に取付部材 を固定すること	取付ピッチ	・全周にわたって間隔250mm以下で固 定	・鋼製の取付部材の場合にはアルミニウム合金製の縦枠 に対して間隔350mm以下、1100mmにつき3箇所以上固定	・全周にわたって間隔200mm以 下で固定	・全周にわたって間隔150mm 以下で固定
		ねじ材質・ 長さ	・鋼製ねじで固定	・鋼製ねじで固定	・鋼製ねじで固定	・鋼製ねじ(埋込長さ32mm以 上)で固定
	かかり代を設 けること	かかり代 長さ	・耐熱強化又は耐熱結晶化:7mm以上 ・複層:13mm以上	・取付部材がアルミニウム合金製の場合...網入り又は耐 熱結晶化:7mm以上、複層:12mm以上 ・取付部材が鋼製の場合...2mm以上	・取付部分におけるかかり代 11mm以上	・取付部分におけるかかり代 13mm以上
その他		・ガラスの下に鋼材又はけい酸カルシ ウム板で造られたセッティングブロック を設置	・ガラスの下に鋼材又はけい酸カルシウム板で造られた セッティングブロックを設置	・ガラスの下に鋼材又はけい酸 カルシウム板で造られたセッ ティングブロックを設置	・ガラスの下に鋼材又はけい 酸カルシウム板で造られた セッティングブロックを設置	
取付部分の封 着方法(火災 時に隙間を生 じないこと)	火災初期の封 止材を設置する こと	封止材の 材質及び 種類	難燃性を有するシリコン製の ・グレイジングガスケット ・シーリング材	難燃性を有する塩化ビニル製又はシリコン製の ・グレイジングガスケット ・シーリング材(取付部材がアルミニウム合金材である場 合に限る)	難燃性を有する塩化ビニル製 又はシリコン製のグレイジ ングガスケット	難燃性を有する塩化ビニル 製又はシリコン製のグレイ ジングガスケット
	火災終期の封 止材を設置する こと	封止材の 材質及び 種類	・加熱膨張材(黒鉛含有エポキシ樹脂)	・加熱膨張材(黒鉛含有エポキシ樹脂)	・加熱膨張材(黒鉛含有エポキ シ樹脂)	・加熱膨張材(黒鉛含有エポ キシ樹脂)